

東京民医連

東日本大震災 ニュース

2011年4月9日

No.47

発行：東京民医連事務局

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：sien@tokyominiren.gr.jp

福島・小名浜支援の報告

小名浜支援の様子報告しておきます。被災状況ですが、病院そのものは海岸から少し離れた小高い丘にあり、建物の損傷はエアコンの破損、書類が棚から落ちる、建物のひび、駐車場の地割れなどありましたが、大きな被害はなかったようです。水道が通っておらず、連日の給水活動にて病院の医療活動を続けていましたが、8日には復旧できました。長期にわたり自宅の断水が続くなか働く職員、家を津波で流されてしまい避難所から通う人もおり、職員の被災状況も深刻です。



原発までは50km圏内なのですが、いわき市の原発風評被害のために店舗は閉店し、避難者も出て、一時ゴーストタウン化して大変だったようです。原発避難時の混乱で不明者もはっきりせず、捜索の手も入っていない状況が続いているようです。

被災地は数キロ海へ近づくと別世界です。陸に打ち上げられた舟、ひしゃげてそこら中に散乱する車、跡形もなく家屋の土台しか残っていない街がずっと浜沿いに続いています。四倉以降は原発避難地域にも入っており車も入れません。公立いわき病院は津波被害で閉鎖中でした。他にも小名浜の海岸線の病院は壊滅状態で、無事だった小名浜生協病院ががんばっている状況です。

窓口では患者さんと職員が、福島のお国ことばで「大丈夫だった」「よかったね」「でも家流された」と何度も声をかけあい励まし合っていました。

<医師協・高田氏の報告より>



歯ブラシ9000本を被災地へ（立川相互病院）

地域の取り組みが新聞記事に。「立相にもっていくと被災地に届けてくれる」口コミから広がった運動です。

昭島市つつじが丘の英語講師小川穂子さんらが市内の小中学校などに呼びかけて歯ブラシ約9000本を集め、被災地に送った。虫歯対策に加え、肺炎や胃腸炎などの感染症予防にも歯磨きが役立つという。

小川さんは、避難所で歯ブラシが不足していると報道で知り、3月20日から知り合いにメールで歯ブラシ集めを呼びかけた。長男と長女が通っていた昭島市立つつじヶ丘北小学校やつつじが丘南小にも運動は広がり、26日までに3200本が集まった。立川市の立川相互病院を通して宮城県塩釜市の坂総合病院に届けられ、歯科医師チームが各避難所に配ったという。

ところが、千人単位の大規模避難所では歯ブラシがまだ足りない。小川さんらは地元ボーイスカウトにも協力を要請し、5日に追加の5700本を発送した。「被災地のために何かしたいという皆の思いが短期間で形になった」と小川さん。今後も物資の支援を続けるつもりだ。

<朝日新聞 4月6日付>